

令和4（2022）年度事業計画（案）

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

〈電話相談「認知症110番」事業〉

令和3年度の「認知症110番」（原則月、木曜日）の運営は、新型コロナウイルス感染症の継続的な感染拡大によって11、12月を除き、時間短縮を余儀なくされました。4年度はコロナ対策を徹底させ、年度当初からのフル稼働を目指します。万一コロナ禍が続いた場合でも、オンラインを活用した勉強会によって相談員のスキルアップを図ります。

運営財源の一部を確保する目的で、4月中・下旬より毎月一定額の寄付をしてくださる方を募る準備を進めています。クラウドファンディングの業者が2月より新たに始めたサービスを活用する予定です。また昨今の景気状況から、一企業・団体に多額の助成を負担してもらうことが難しくなっていることを踏まえ、複数の企業・団体に分担してもらう働きかけをして参ります。

〈シンポジウム事業〉

会合形式はもちろん、オンラインでもスムーズに開催できるノウハウを蓄積して参ります。東急不動産主体の一般社団法人「生涯健康社会推進機構」との連携を強め、令和4年度も質の高い企画を実施いたします。

〈調査研究事業〉

当財団発行の認知症ハンドブックは最後の改訂版発行から5年が経過していることを踏まえ、更新ともに、6冊の小冊子に分かれているものを1冊に集約することを検討いたします。

〈財団報「新時代」の発行〉

令和4年度は133号～138号を発行します。5年度以降の協賛金確保にメドが立たない場合、経費節減の観点から紙媒体での発行を取りやめてWEB版のみに切り替えることのメリット、デメリットを検討いたします。